第 10 章

BANYAN VINES ネットワークの設定

BANYAN VINES システムでの印刷

第 10 章 BANYAN VINES ネットワークの設定

10

Banyan Vines システムでの印刷

概要

ブラザー プリント サーバーを使用して、すべてのプリンタを Banyan VINES ネットワーク上で共有することができます。 クライアント PC の印刷ジョブは VINES ファイル サーバーに送られ、そこからプリント サーバーにスプールされます。 印刷はユーザーのアプリケーションに対し透過的に実行されます。 また、MANAGE、MSERVICE、MUSER など標準の VINES ユーティリティや、プリンタの制御コンソールを使用してプリント サーバーの設定を行うことができます。 すべての VINES ネットワーク ユーザーは、同時に印刷ジョブを実行できます。

すぐ使用する場合

1. ブラザー プリント サーバーのデフォルト パスワードは access です。
2. ウェブ ブラウザまたは BRAdmin Professional を使用して Banyan 設定パラメータの設定を行い、プリント サーバーに IP アドレスを割り当てることができます。

ネットワークでのブラザー プリント サーバーの使用に必要なツール

VINES ファイル サーバーにインストールされている Banyan の PCPrint ソフトウェア。

ファイル サーバー ユーザー コンソール

ブラザー プリント サーバーが Banyan VINES ネットワークにログインできるように、まず、ファイル サーバーの設定を行う必要があります。 すべての VINES プリント サーバーはユーザーとしてファイル サーバーにログインするため、プリント サーバーに ストリートトーク名を設定しなければなりません。

1. 任意の VINES ワークステーションからスーパバイザ（supervisor）としてログインし、DOS プロンプトで MANAGE と入力し、MANAGE プログラムを実行します。
2. メイン メニューで [2 - Users（ユーザー）] を選択し、<ENTER>キーを押します。
3. Manage Users（ユーザーの管理）画面が表示されます。 [ADD a user（ユーザーの追加）] を選択すると、Add A User（ユーザーの追加）画面が表示されます。 目的のプリント サーバーサービスのストリートトーク名 を入力します。 任意に、説明、ニックネーム、パスワードを入力することができます。 入力が終了したら<F10>キーを押します。
4. Add User Profile（ユーザー プロファイルの追加）画面が表示されます。 空のユーザー プロファイルを選択し、<ENTER>キーを押します。空のユーザー プロファイルが存在しない場合は、Sample Profile（サンプル プロファイル）を選択します。
5. メッセージ「Do you want to force the user to change passwords on the next login?（ユーザーは次回のログインでパスワードの変更が必要）」が表示されます。 [No（いいえ）] を選択し、<ENTER>キーを押します。
6. Manage A User（ユーザーの管理）画面が表示されます。 手順 4 で空のユーザー プロファイルを選択した場合は、手順 8 に飛びます。 そうでない場合は、矢印キーを使用して [MANAGE User Profile（ユーザー プロファイルの管理）] を選択し、<ENTER>キーを押します。
7. Manage User Profile（ユーザー プロファイルの管理）画面が表示されます。 次の手順を実行し、空のユーザー プロファイルを作成します。
ー[EDIT profile（プロファイルの編集）] を選択します。
ー画面にプロファイルが表示されたら、<CTRL>+<X>キーを数回押して、プロファイル内のすべての行を削除し、削除が終了したら<F10>キーを押します。 新たに作成したこの空のプロファイルを、ブラザー プリント サーバー設定用テンプレートとして使用します。
<ESCAPE>キーを押し、Manage A User（ユーザーの管理）画面に戻ります。
8. <ESCAPE>キーを 2 回押してメイン メニューに戻ります。

ファイル サーバー キューの設定

Banyan VINES ファイル サーバー上にキューを設定する必要があります。 印刷キューは、VINES ファイル サーバー上で使用できるさまざまなサービスの 1 つです。 印刷キューを設定するには、MANAGE ユーティリティを使用し、次の手順を実行します。

1. メイン メニューで [1 - Services （サービス）] を選択し、<ENTER>キーを押します。
2. Manage Services （サービスの管理）画面が表示されます。 [ADD a server-based service（サーバー ベースのサービスの追加）] を選択し、<ENTER>キーを押します。
3. Add A Service（サービスの追加）画面で、印刷キューの ストリートトーク名を入力し、<ENTER>キーを押します。 次に、プリント サーバーの説明を入力し、<ENTER>キーを押します。
4. 複数のファイル サーバーがリストに表示されている場合は目的のファイル サーバーを選択し、<ENTER>キーを押します。
5. Select Type Of Service（サービスの種類の選択）画面が表示されます。VINES 5.xx の場合は [3 - VINES print service（印刷サービス）]、VINES 6.xx の場合は [2 - Banyan Print Service（印刷サービス）] を選択し、<ENTER>キーを押します。
6. この印刷キューを設定するディスクを矢印キーで選択し、<ENTER>キーを押します。 メッセージ「The service is running but not yet available to users.（サービスは実行されていますが、まだユーザーには使用できません）」が表示されます。 <F10>キーを押します。
7. Configure Queue（キューの設定）画面が表示されます。 必要に応じ、印刷ジョブの最大数と最大サイズを入力します。 印刷ジョブの数とサイズを制限しない場合は<F10>キーを押します。
8. Configure Paper Formats（用紙フォーマットの設定）画面が表示されます。 必要に応じ、デフォルトに指定する用紙フォーマットを選択します。 デフォルトを選択する場合は<F10>キーを押します。
9. Access Lists（アクセス リスト）画面が表示されます。 必要に応じ、プリンタを使用する権限のあるユーザー名を入力します。 デフォルトを選択する場合は<F10>キーを押します。
10. VINES 5.xx システムの場合は、プリンタに問題が発生したときに通知するユーザーを、Alert list（アラート リスト）画面で入力することができます。 そうでない場合は<F10>キーを押し、デフォルト設定を選択します（VINES 6.xx の場合を除く）。
11. Add A Destination（出力先の追加）画面が表示されます。 矢印キーを使用して [PCPrint] を選択し、<ENTER>キーを押します。

PCPrint がインストールされていない場合は、このオプションは画面に表示されません。 ブラザー プリント サーバーを使用するには PCPrint のインストールが必要です。

12. Destination Attributes（出力先の属性）画面が表示されます。 ブラザー プリント サーバーの ストリートトーク名と説明（任意）を入力し、<F10>キーを押します。
13. Output strings（出力文字列）画面が表示されます。 この画面では、印刷ジョブの前後に送信してプリンタを特別の状態（両面印字モードなど）に設定する文字列を定義することができます。 ほとんどのアプリケーションでは、デフォルト値で問題はありません。 ただ、DOS プロンプトからテキスト ファイルを直接印刷する場合は、用紙の排出を行うために、￥f （紙送り）などの Post-job（ジョブ後の）文字列を定義する必要があります。 DOS または Windows アプリケーションから印刷を行う場合は、通常は、プログラムまたはドライバが各ジョブの後でプリンタのリセットを行うため、このような指定は不要です。 また、画像ファイルの印刷ではトラブルの原因になります。 <F10>キーを押し、デフォルトの出力文字列値を選択します。
14. Enable strings（文字列設定）画面が表示されます。 このメニューで、バナー ページを印刷するかどうか、セットアップとリセットの文字列を使用するかどうか、およびその他のオプションを選択できます。 必要なオプションを選択するか、<F10>キーを押し、デフォルトの設定を選択します。
15. メッセージ「Would you like to add another destination at this time?（別の出力先を追加しますか）」に対して [No（いいえ）] を選択します。
16. Print Queue Status（印刷キューの状態）画面が表示されます。 このキューで印刷ジョブを受け付けてもいないし、ジョブの印刷も行っていないことが表示されます。 両方の値を [Yes（はい）] に変更し、<F10>キーを押します。 このキューで印刷ジョブを受け付ける準備ができていることを表すメッセージが表示されます。 もう一度<F10>キーを押します。
17. このファイル サーバー上に複数のキューを設定する場合は、このセクションの手順 1～17 を繰り返します。 <ESCAPE>キーを数回押し、MANAGE ユーティリティを終了します。

プリント サーバーの設定にBRAdmin Professionalを使用する

最後に、ブラザー プリント サーバーに StreetTalk ログイン名を追加し、ファイル サーバーのキューをプリント サーバー上のサービスの 1 つに関連付けます。 次の手順を実行します。

1. Windows のプログラム マネージャの [ファイル] メニューを選択し、プリント サーバー設定ユーティリティ ディスケットから、BRAdmin Professional をインストールします。 [ファイル名を指定して実行] を選択し、コマンド ラインに A（CD-ROM のドライブ名）: ￥SETUP.EXE を入力して [OK] をクリックします。 画面の案内に従って作業を完了します。
2. BRAdmin Professional を起動します。
3. リストにブラザー プリント サーバーのノード名 BRN_xxxxxx が表示されます。 xxxxxx は Ethernet アドレスの最後の 6 桁です。 このノード名が表示されない場合は、Ethernet 接続ケーブルおよびハブ（使用している場合）の接続を調べます。 この名前をダブルクリックします。 パスワードの入力が必要です。 デフォルトのパスワードは access です。
4. [OK] をクリックします。
5. [BanyanVines] タブをクリックします。
6. Banyan のホップ数制限はデフォルトでは 2 ホップに設定されます。 この設定は、ほとんどのネットワークに適合します。 ただし、ファイル サーバーがプリント サーバーから 2 ホップ以上離れている場合は、ホップ数制限を適当な値に設定する必要があります。
7. プリント サーバーのログイン 名を入力します。 これは、手順 A-3 で入力した名前と一致していなければなりません。ログイン 名に空白が含まれている場合は、二重引用符で囲む必要があります（"john smith@uc_engineering@irvine"など）。 手順 A-3 でパスワードを入力した場合は、ここで、そのパスワードを入力しなければなりません。
8. [サービス] タブをクリックします。
9. VINES で使用するサービスをダブルクリックします。 よくわからない場合は、BINARY_P1 を使用します。 サービス使用の詳細は、付録 B をご参照ください。
10. 手順 B-3 で定義した印刷キューの ストリートトーク名を入力します。
11. [OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックして、設定した内容を保存します。
12. [OK] をクリックし、もう一度 [OK] をクリックして、BRAdmin Professional を終了します。

プリント サーバーの設定にプリント サーバー コンソールを使用する

BRAdmin Professional を使用せず、プリント サーバー コンソールを使用してプリント サーバーの設定を行うこともできます。 次の手順を実行します。

1. TELNET、NCP、または BRCONFIG を使用して、プリント サーバーに接続します。 下記のコマンドのいくつか、またはすべてを実行します。 少なくとも、プリント サーバーの ストリートトーク名を入力し、プリント サーバーのサービスの 1 つを印刷キューの ストリートトーク名に関連付ける必要があります。

SET BAnyan LOgin loginname
プリント サーバーの ストリートトーク名を設定します。

SET BAnyan PAssword password
プリント サーバーのパスワードを設定します。 パスワードは手順 A-3 で指定したパスワードと一致しなければなりません（パスワードを指定した場合）。

SET SERVIce service STreettalk queuename
指定したブラザー プリント サーバー上の Banyan プロトコルを使用可能にし、このサービスを VINES ファイル サーバー上の所定の印刷キューの ストリートトーク名に関連付けます。 使用可能なサービスを調べるには、SHOW SERVICE と入力します。 よくわからない場合は BINARY_P1 を使用します。

SET BAnyan HOp nn
ブラザー プリント サーバーとファイル サーバー間のホップ数制限を設定します。 デフォルト値は 2 で、ほとんどのサイトに適合します。 ただ、ファイル サーバーとプリント サーバーが 2 ホップ以上離れている場合は、この値を変更しなければなりません。
コマンドの入力が終了したら、EXIT と入力してリモート コンソールを終了し、変更した内容を反映します。